

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2009-523937

(P2009-523937A)

(43) 公表日 平成21年6月25日(2009.6.25)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
E05D 15/26 (2006.01)	E05D 15/26	2E015
E06B 3/48 (2006.01)	E06B 3/48	2E030
E05D 3/06 (2006.01)	E05D 3/06	2E034
E05D 7/04 (2006.01)	E05D 7/04	

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 14 頁)

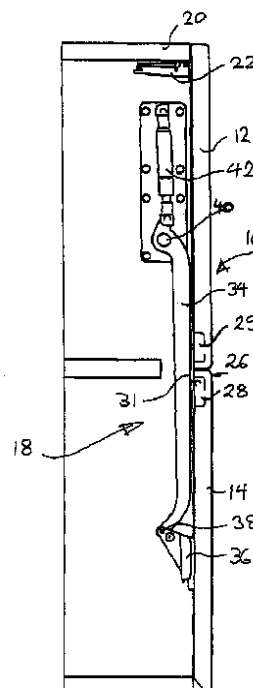
(21) 出願番号	特願2008-551741 (P2008-551741)	(71) 出願人	595114883 アルトゥーロ サリーチェ エス. ピー. アー Arturo Salice S. P. A イタリア, コモ ノヴェドラータ 1-2 2060, ヴィア プロヴィンチャーレ ノヴェドラテーゼ 10
(86) (22) 出願日	平成19年7月3日 (2007.7.3)	(74) 代理人	100101340 弁理士 丸山 英一
(85) 翻訳文提出日	平成20年4月18日 (2008.4.18)	(72) 発明者	ルチアーノ サリーチェ イタリア, カリマーテ 22060, ヴィ ア ロンコ 30
(86) 国際出願番号	PCT/EP2007/005880	Fターム(参考)	2E015 AA02 BA01 CA01 EA01 FA01 2E030 AB02 BB03 2E034 JA04 KA02
(87) 国際公開番号	W02008/040403		
(87) 国際公開日	平成20年4月10日 (2008.4.10)		
(31) 優先権主張番号	202006015190.7		
(32) 優先日	平成18年10月4日 (2006.10.4)		
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 2板式折畳み扉用の持上げ装置

(57) 【要約】

本発明は2板式折畳み扉16のための持上げ装置18に関し、上板12は水平な第1軸線回りに揺動可能にケースの上壁20または区画壁にヒンジで取付けられ、下板14は第1軸線に対して平行な第2軸線回りに揺動可能に上板に連結され、持上げ装置18は少なくとも1本の双腕レバー34を具備し、このレバー34は水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバー34の長い腕は下板14に枢着連結され、持上げ装置18は少なくとも1本のヒンジアーム31を具備し、このヒンジアームは板に枢着連結され、ヒンジアーム31はそれぞれ、板に設けられたヒンジカップ28、29に固定され、ヒンジアーム31は第1偏心装置48を介して第1方向にヒンジカップと相対的に調節可能であり、かつ第2偏心装置50を介して第1方向に対して垂直な他の方向に調節可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第 1 軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第 1 軸線に対して平行な第 2 軸線回りに揺動可能に上板に連結され、

少なくとも 1 本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、

少なくとも 1 本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置において、

10

ヒンジアームが第 1 偏心装置を介して第 1 方向にヒンジカップと相対的に調節可能であり、かつ第 2 偏心装置を介して第 1 方向に対して垂直な他の方向に調節可能であることを特徴とする 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 2】

ヒンジアームが中間プレート内に回転可能に収容された第 1 偏心装置を介して調節可能であるように、ヒンジアームが少なくとも 1 本のピンを介して中間プレートに許容差をもって保持されていることを特徴とする請求項 1 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 3】

ヒンジアームが中間プレートと共に、前記中間プレートを通過する第 2 偏心装置を介してヒンジカップと相対的に調節可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

20

【請求項 4】

中間プレートが、第 2 偏心装置を回転可能に保持している支持プレート上で、縦方向に移動可能に案内されていることを特徴とする請求項 3 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 5】

中間プレートがヒンジカップ内で縦方向に移動可能に案内され、第 2 偏心装置がこのヒンジカップに回転可能に保持されていることを特徴とする請求項 3 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 6】

30

中間プレートが狭いウェブ部分を有し、部分的に U 字形断面を有するヒンジアームが前記ウェブ部分に上から嵌合していることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一つに記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 7】

少なくとも 1 本のピンがウェブ部分から両側に突出し、それによってピンがウェブ部分に対して、嵌合ヒンジアームを横方向に移動支持できるように、ピンがウェブ部分に保持可能であることを特徴とする請求項 6 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【請求項 8】

少なくとも 1 本のピンがその中央領域に溝削り部を備えていることを特徴とする請求項 7 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、2 板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第 1 軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第 1 軸線に対して平行な第 2 軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも 1 本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも 1 本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置である、2 板式折畳み扉用の持上げ装置に関する。

50

【背景技術】

【0002】

2板式折畳み扉用の持上げ装置は特許文献1によって知られている。上板は水平な第1軸線回りに揺動可能に戸棚の上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板は第1軸線に対して平行な第2軸線回りに揺動可能に上板に連結されている。持上げ装置は少なくとも1本の双腕レバーを具備し、このレバーは水平軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕は下板にヒンジで連結されている。更に、圧縮ばね部材が設けられている。この圧縮ばね部材の一端はケース部分に枢着され、他端は短いレバー腕に枢着されている。

【0003】

公知の折畳み扉は人がハンドルを掴むことによって開放される。このハンドルは図示されていないが、必須であり、下板に連結されている。このハンドルは下板の下側エッジから特別な間隔を有していなければならない。

【0004】

折畳み扉の開放のためのハンドルを必要とせずに、下板の下側エッジを引っ張るだけで折畳み扉の開放を可能にする、上記の種類の持上げ装置を提供する必要性がある。

【0005】

2板式折畳み扉のための持上げ装置はドイツ国実用新案の特許文献2によって知られている。この特許文献は2板式折畳み扉のための持上げ装置であって、上板が水平な第1軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第1軸線に対して平行な第2軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも1本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも1本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されているという特徴を開示している。

【0006】

この文献に記載された2板式折畳み扉のための持上げ装置はヒンジを備え、このヒンジは、一方の板に挿入可能なヒンジカップと、2枚の板を連結するために他方の板に固定可能なヒンジアームとを備えている。

【0007】

この実用新案で示された一つの実施の形態では、ヒンジアームが両板において、それぞれ板に設けられたヒンジカップ内のピンに連結され、それによって扉の2枚の板が非常にコンパクトで省スペース形態で互いに枢着連結されている。他の実施の形態では、ヒンジアームが一方ではヒンジカップにおいて一方の板に連結され、他方では通常の4リンクヒンジの形態で他の板に連結されている。

【0008】

通常の4リンクヒンジの使用により、三次元方向の調節が可能であるので、板は適当な調節によって互いに相対的におよび家具1点のケースと相対的に三次元で調節可能である。ヒンジアームが各端部でヒンジカップに支持されている実施の形態では、異なる座標方向でのこのような調節は不可能である。

【0009】

【特許文献1】DE 201 00 662 U1

【特許文献2】DE 20 2005 016 405

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0010】

そこで、本発明の課題は、2板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第1軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第1軸線に対して平行な第2軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも1本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レ

10

20

30

40

50

バーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも1本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置において、各端部でヒンジカップに支持されたヒンジが、板の横方向位置合わせと相互間隔調節を可能にする2つの座標方向の調節手段を備えることができるように、発展形成された持上げ装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0011】

上記課題は以下の各発明によって解決される。

【0012】

(請求項1)

2板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第1軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第1軸線に対して平行な第2軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも1本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも1本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置において、ヒンジアームが第1偏心装置を介して第1方向にヒンジカップと相対的に調節可能であり、かつ第2偏心装置を介して第1方向に対して垂直な他の方向に調節可能であることを特徴とする2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0013】

(請求項2)

ヒンジアームが中間プレート内に回転可能に収容された第1偏心装置を介して調節可能であるように、ヒンジアームが少なくとも1本のピンを介して中間プレートに許容差をもって保持されていることを特徴とする請求項1記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0014】

(請求項3)

ヒンジアームが中間プレートと共に、前記中間プレートを通過する第2偏心装置を介してヒンジカップと相対的に調節可能であることを特徴とする請求項1または2に記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0015】

(請求項4)

中間プレートが、第2偏心装置を回転可能に保持している支持プレート上で、縦方向に移動可能に案内されていることを特徴とする請求項3記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0016】

(請求項5)

中間プレートがヒンジカップ内で縦方向に移動可能に案内され、第2偏心装置がこのヒンジカップに回転可能に保持されていることを特徴とする請求項3記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0017】

(請求項6)

中間プレートが狭いウェブ部分を有し、部分的にU字形断面を有するヒンジアームが前記ウェブ部分に上から嵌合していることを特徴とする請求項1～5のいずれか一つに記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0018】

(請求項7)

少なくとも1本のピンがウェブ部分から両側に突出し、それによってピンがウェブ部分に対して、嵌合ヒンジアームを横方向に移動支持できるように、ピンがウェブ部分に保持可能であることを特徴とする請求項6記載の2板式折畳み扉用の持上げ装置。

【0019】

10

20

30

40

50

(請求項 8)

少なくとも 1 本のピンがその中央領域に溝削り部を備えていることを特徴とする請求項 7 記載の 2 板式折畳み扉用の持上げ装置。

【発明の効果】

【0020】

本発明によると、2 板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第 1 軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第 1 軸線に対して平行な第 2 軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも 1 本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも 1 本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置において、各端部でヒンジカップに支持されたヒンジが、板の横方向位置合わせと相互間隔調節を可能にする 2 つの座標方向の調節手段を備えることができるように、発展形成された持上げ装置を提供することができる。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0021】

以下に、本発明の実施の形態について説明する。

【0022】

2 板式折畳み扉用の持上げ装置であって、上板が水平な第 1 軸線回りに揺動可能にケースの上壁または区画壁にヒンジで取付けられ、下板が第 1 軸線に対して平行な第 2 軸線回りに揺動可能に上板に連結され、少なくとも 1 本の双腕レバーを具備し、このレバーが水平枢着軸線回りに揺動可能に側方ケース部分に取付けられ、レバーの長い腕が下板に枢着連結され、少なくとも 1 本のヒンジアームを具備し、このヒンジアームが板を枢着連結し、ヒンジアームがそれぞれ、板に設けられたヒンジカップに固定されている、持上げ装置において、各端部でヒンジカップに支持されたヒンジが、板の横方向位置合わせと相互間隔調節を可能にする 2 つの座標方向の調節手段を備えることができるように、発展形成された持上げ装置は、請求項 1 の特徴の組み合わせによって解決される。ヒンジアームは第 1 偏心装置を介して第 1 方向に一方のヒンジカップと相対的に調節可能であり、かつ第 2 偏心装置を介して第 1 方向に対して垂直な他の方向に調節可能である。

20

【0023】

本発明の特別な実施形態は請求項 1 に続く従属請求項から明らかである。

30

【0024】

ヒンジアームが中間プレート内に回転可能に収容された第 1 偏心装置を介して調節可能であるように、ヒンジアームは少なくとも 1 本のピンを介して中間プレートに許容差でもって保持可能である。中間プレートはヒンジアームとヒンジアームを固定するヒンジカップとの間にあり、前記中間プレートはヒンジカップ上で関節軸線に対して垂直に移動可能に案内され、ヒンジアームは中間プレート上で第 2 偏心装置または他の固定手段によって、セット可能な相対位置、すなわち固定された相対位置で、枢着軸線に対して平行に移動可能である。

【0025】

ヒンジアームは中間プレートと共に、前記中間プレートを通過する第 2 偏心装置を介してヒンジカップと相対的に調節可能である。

40

【0026】

中間プレートは、偏心装置を回転可能に保持している支持プレート上で、縦方向に移動可能に案内可能である。これは、その他の点では標準的に形成されたヒンジカップ内への支持プレートの分離挿入を可能にする。

【0027】

その代わりに、中間プレートは、第 2 偏心装置を回転可能に保持しているヒンジカップ内で縦方向に移動可能に案内可能である。この実施形態では支持プレートが省略されている。

50

【0028】

他の好ましい実施形態に従って、中間プレートは狭いウェブ部分を有し、部分的にU字形断面を有するヒンジアームがウェブ部分に上から嵌合している。

【0029】

少なくとも1本のピンがウェブ部分から両側に突出し、それによってピンがウェブ部分に対して、嵌合ヒンジアームを横方向に移動支持できるように、ピンがウェブ部分に保持可能である。

【0030】

少なくとも1本のピンはその中央領域に、組立を容易にするための溝削り部を備えている。ピンの溝削り部は中間プレートのウェブ部分に挿入可能であり、摩擦ロックを行う。

10

【0031】

本発明の他の詳細、効果および特徴は、図に示した実施の形態から明らかになる。

【0032】

図1は、家具1点、すなわち例えばクローゼット要素またはドレッサー要素のケースの側面図である。この家具の開口は折畳み扉16によって閉鎖されている。この折畳み扉は互いに枢着連結された2枚の板12、14からなっている。図示では、折畳み扉のための持上げ装置18が見えるようにするために、前側の側壁は取り外してある。折畳み扉16の上板12は普通の方法で2個の2リンクヒンジ22によって、ケースの上壁20に枢着されている。それによって、上記の折畳み扉はヒンジ20によって形成された関節軸線回りに揺動可能である。

20

【0033】

下板14は他のヒンジ26を介して上板12に枢着連結されている。関節26のヒンジカップ28が下板14に挿入されている。ヒンジ26のヒンジカップ29が上板12に挿入されている。ヒンジ26は枢着軸線を形成し、この枢着軸線回りに折畳み扉の2枚の板12、14が相対的に揺動可能である。

【0034】

持上げ装置18は特許文献1（DE20100662U）によって既に知られている方法で双腕レバー34を備えている。レバー34は取付け金具36を備えた枢着個所38を形成している。図1から明らかなように、取付け金具は下板14に連結されている。枢着個所38は同様に水平枢着軸線を形成している。この枢着軸線は簡単化するために38によって示してある。他の枢着軸線40がレバー34の上側枢着個所によって形成されている。自由端をケースに枢着したガス圧縮ばね42は、レバー34の短い腕に作用している。

30

【0035】

折畳み扉16は図2に開放位置が示してある。板12、14はケースに自由にアクセスできるように上方に揺動している。

【0036】

ヒンジ26の構造と機能について、図3～6に関連して詳細に説明する。

【0037】

ヒンジアーム31はピン32（図4参照）によって第1ヒンジカップ28に揺動可能に連結されている。反対側の端領域において、ヒンジアーム31は2本のピン44を介して中間プレート45に横方向に移動可能に連結されている。溝削り部を有するピン44の中央領域は、中間プレート45の狭いウェブ部分47の穴46内に保持され、それによって横方向端部はスピゴットのように穴から突出している。中間プレート45上でのヒンジアーム31の横方向移動は、偏心装置48によって行われる。この偏心装置はウェブ部分47の穴49を通過し、ウェブ部分にリベット止めされている。

40

【0038】

図示した実施の形態では、中間プレート45が分離して設けられた支持プレート51を介して案内されている。この支持プレートは2本のピン52、53によってヒンジカップ29に固定されている。ヒンジカップ29は慣用の方法で鋼からなっている。ヒンジカッ

50

プ 2 9 における偏心装置 5 0 の直接的な固定は、錫のダイカストでは、一層複雑でおよび／またはコストのかかる設計を必要とするであろう。

【 0 0 3 9 】

偏心装置 5 0 は支持プレート 5 1 の穴 5 4 内に保持され、支持プレートにリベット止めされている。中間プレート 4 5 は横方向縁部 5 5 を有し、それによって支持プレート 5 1 を U 字形に被覆している。縁部は細長い穴 5 6 を有し、この穴を介して中間プレート 4 5 はピン 5 2、5 3 によってヒンジカップ 2 9 に保持され、そしてこのピン 5 2、5 3 および下側の溝 5 9 によって形成されたガイドによって縦方向に移動可能である。この下側の溝は支持プレート 5 1 の上面によって部分的に取り囲まれている（図 5 参照）。

【 0 0 4 0 】

ヒンジアーム 3 1 と中間プレート 4 5 はそれぞれ、偏心装置 4 8、5 0 の頭のための切り込み 5 7、5 8 を通常の方法で備えている。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 4 1 】

【図 1】 持上げ装置の実施の形態の側面図（持上げ装置に連結された折畳み扉は閉鎖位置にある。）

【図 2】 本発明の持上げ装置の開放位置にある折畳み扉を示した図

【図 3】 折畳み扉の板を互いに連結するヒンジの平面図

【図 4】 図 3 のヒンジに沿った縦断面図

【図 5】 図 4 の V－V 線に沿った断面図

【図 6】 図 3 のヒンジの個々の部品を示す分解図

【符号の説明】

【 0 0 4 2 】

1 2：板（上板）

1 4：板（下板）

1 6：折畳み扉

1 8：持上げ装置

2 0：ケースの上壁

2 2：リンクヒンジ

2 6：ヒンジ

2 8：ヒンジカップ

2 9：ヒンジカップ

3 1：ヒンジアーム

3 2、5 2、5 3：ピン

3 4：レバー（双腕レバー）

3 6：取付け金具

3 8：枢着箇所

4 0：枢着軸線

4 2：ガス圧縮ばね

4 4：ピン

4 5：中間プレート

4 6、4 9、、5 4、5 6：穴

4 7：ウェブ部分

4 8：（第 1）偏心装置

5 0：（第 2）偏心装置

5 1：支持プレート

5 5：横方向縁部

5 7、5 8：切り込み

5 9：溝

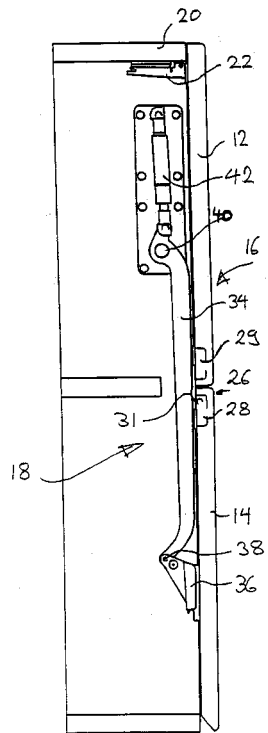
10

20

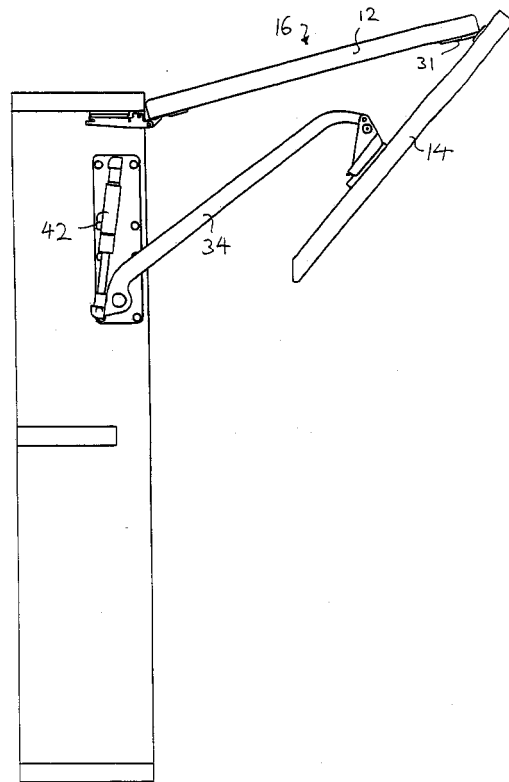
30

40

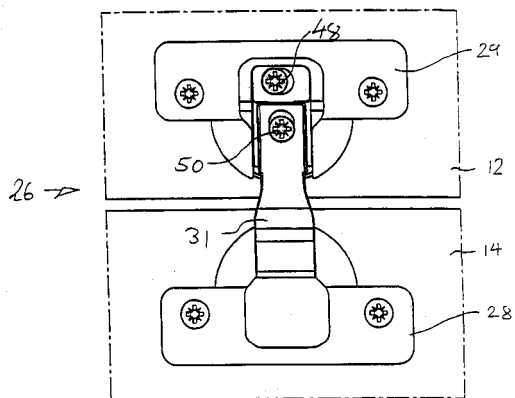
【図 1】



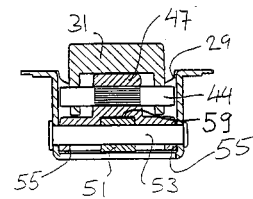
【図 2】



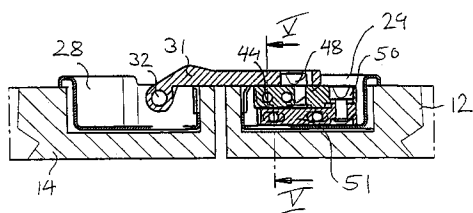
【図 3】



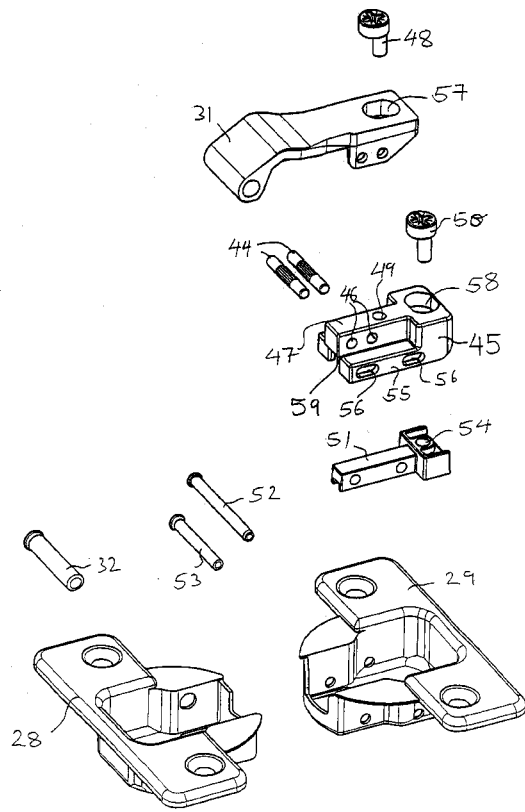
【図 5】



【図 4】



【図 6】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2007/005880

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER INV. E05D15/26 E05D3/02 ADD. E05F1/10 E05D5/08		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) E05D E05F		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	DE 20 2005 016405 U1 (SALICE ARTURO SPA [IT]) 5 January 2006 (2006-01-05) cited in the application the whole document	1-8
A	DE 20 2005 000814 U1 (JULIUS BLUM GMBH HOECHST [AT]) 24 March 2005 (2005-03-24) paragraph [0018] - paragraph [0022]; figures	1-8
A	DE 20 2005 000423 U1 (JULIUS BLUM GMBH HOECHST [AT]) 31 March 2005 (2005-03-31) paragraph [0020] - paragraph [0030]; figures	1-8
A	WO 2005/075781 A (BLUM GMBH JULIUS [AT]; HOLLENSTEIN HELMUT [AT]; GASSNER SIMON [AT]) 18 August 2005 (2005-08-18) the whole document	1-8
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents : *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier document but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art. *&* document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 1 October 2007		Date of mailing of the international search report 10/10/2007
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Di Renzo, Raffaele

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2007/005880

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 202005016405 U1	05-01-2006	EP 1766172 A1	28-03-2007
		WO 2007009518 A1	25-01-2007
DE 202005000814 U1	24-03-2005	AT 7570 U1	25-05-2005
DE 202005000423 U1	31-03-2005	AT 7573 U1	25-05-2005
WO 2005075781 A	18-08-2005	AT 413418 B	15-02-2006
		AT 1972004 A	15-07-2005
		CN 1918357 A	21-02-2007
		EP 1713999 A2	25-10-2006
		JP 2007522364 T	09-08-2007
		KR 20060135730 A	29-12-2006

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2007/005880

A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES INV. E05D15/26 E05D3/02 ADD. E05F1/10 E05D5/08		
Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPC) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPC		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE Recherchierte Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) E05D E05F		
Recherchierte, aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
A	DE 20 2005 016405 U1 (SALICE ARTURO SPA [IT]) 5. Januar 2006 (2006-01-05) in der Anmeldung erwähnt das ganze Dokument	1-8
A	DE 20 2005 000814 U1 (JULIUS BLUM GMBH HOECHST [AT]) 24. März 2005 (2005-03-24) Absatz [0018] - Absatz [0022]; Abbildungen	1-8
A	DE 20 2005 000423 U1 (JULIUS BLUM GMBH HOECHST [AT]) 31. März 2005 (2005-03-31) Absatz [0020] - Absatz [0030]; Abbildungen	1-8
A	WO 2005/075781 A (BLUM GMBH JULIUS [AT]; HOLLENSTEIN HELMUT [AT]; GASSNER SIMON [AT]) 18. August 2005 (2005-08-18) das ganze Dokument	1-8
☐ Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen ☒ Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen : *A* Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist *E* älteres Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist *L* Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) *O* Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht *P* Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist *T* Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist *X* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden *Y* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist *G* Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche		Absenddatum des internationalen Recherchenberichts
1. Oktober 2007		10/10/2007
Name und Postanschrift der Internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Bediensteter Di Renzo, Raffaele

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2007/005880

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
DE 202005016405 U1	05-01-2006	EP 1766172 A1	28-03-2007
		WO 2007009518 A1	25-01-2007
DE 202005000814 U1	24-03-2005	AT 7570 U1	25-05-2005
DE 202005000423 U1	31-03-2005	AT 7573 U1	25-05-2005
WO 2005075781 A	18-08-2005	AT 413418 B	15-02-2006
		AT 1972004 A	15-07-2005
		CN 1918357 A	21-02-2007
		EP 1713999 A2	25-10-2006
		JP 2007522364 T	09-08-2007
		KR 20060135730 A	29-12-2006

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW